

表紙写真について

エネコム広島ビル

- 設計施工／株式会社 竹中工務店
- 所在地／広島市東区
- 構造規模／S造（免震構造）
F10 P1
- 敷地面積／3,386㎡
- 建築面積／1,473㎡
- 延床面積／13,040㎡
- 竣工／平成28年7月



インターネット接続サービスなど情報通信事業を展開するエネルギー・コミュニケーションズ（略称：エネコム）が、広島の新しい玄関として再開発が進む広島駅北口地区に、最新鋭のICTセンターを建設しました。

災害に強く、高い信頼性と機能性、万全のセキュリティを備え、ICTセンターの必須条件である電源ルートの完全二重化、重要機器のバックアップなど、災害や設備故障に対する高い安全性を確保し、非常時の災害対策拠点としても機能する施設として

ています。

外観は、ICTセンターとしての先進性と求められる信頼感のイメージを内部の用途を率直に表現したシンプルな壁面構成で、端正に表現しました。

近隣住宅地への配慮として、壁面の分節、連窓開口部により周辺への圧迫感や単調さを低減させ、道路沿いに配したフェンスと一体になった植栽など、周辺街区と連続した景観の形成にも配慮しています。

安全で安心な住まいづくりをサポートします。

- ◆ 建築確認・検査
- ◆ 住宅性能評価
- ◆ フラット35適合証明
- ◆ 長期優良住宅技術審査
- ◆ 低炭素建築物技術審査
- ◆ 住宅かし担保責任保険
- ◆ 省エネ関連業務
- ◆ すまい給付金サポート
- ◆ リフォーム評価ナビ
- ◆ 地域型住宅グリーン化事業申請窓口
- ◆ ベターリビングリフォーム審査業務

指定確認検査機関・登録住宅性能評価機関
株式会社 広島建築住宅センター
URL: <http://www.hkjc.co.jp>

本社 〒730-0013 広島市中区八丁堀 15-10
TEL(082)228-2220 FAX(082)228-2231
営業所 〒720-0034 福山市若松町 8-22
TEL(084)928-3979 FAX(084)928-3974

株式会社 ティーエス ハマモト

一級建築士事務所 ISO9001 認証取得



大規模修繕工事
各種環境対応事業
調査 診断 設計 施工

〒731-0135 広島市安佐南区長束 4 丁目 16-2
TEL 082-238-1511 FAX 082-238-1513

ぷろじえくと ニュース PROJECT NEWS

尾道市原田町の見学研修会

尾道支部 まちづくり研修会

尾道支部では、他団体とともに尾道市原田町の地域活性化に取り組んでおり、まちづくり研修会として、この活動の見学研修会を開催することとなりました。

①NPO法人原田芸術文化交流館

統合により廃校となった中学校を、地域活性化の拠点とする取り組みについて

②原田町歴史文化同好会

原田町の歴史を研究し、町民が自分の住む町を知ること、これからのまちづくりを考える発表

③NPO法人 尾道まなび村（清実高等学園）

不登校やニートなど、若者の居場所づくりに取り組む一方、空き家対策事業への取り組みについて

■日時 3月18日（土）9：30～14：00

■場所

午前：原田芸術文化交流館（駐車場有り）
尾道市原田町梶山田66 旧原田中学校
午後：尾道まなび村

■申し込み締め切り 2月28日（火）

■定員 30名先着順

（建築士会CPD認定 3単位）

■申し込み・問い合わせ

広島県建築士会尾道支部 TEL 0848-23-5300

CPD認定プログラム(3月の広島県内実施分)

2月22日現在

日時	プログラム名	単位	主催	連絡先
3/7	モバイル、クラウド徹底活用！現場のコミュニケーションと情報共有	6	インターウェブ	099-812-0677
3/10	技術セミナー（広島）	4	空気調和・衛生工学会	082-244-1770
3/16	優良工事表彰獲得のための建設マネジメントスキル向上	6	インターウェブ	099-812-0677
3/18	尾道市原田町の地域活動見学会	3	広島県建築士会尾道支部	0848-23-5300
3/31	金属屋根の現状と最新事例	2	元旦ビューティ工業(株)	082-261-3161

入会金免除キャンペーンを 実施中です！

広島県建築士会会員増強推進チーム

●新規加入者

入会金3,000円 免除

期間：平成29年3月～8月の6カ月間

是非、この機会を利用して当会へご入会下さい！

また、入会希望の方にご紹介下さい。

CPD管理料・29年度(次年度)分のお支払について

建築士会CPD制度に参加されている皆様には、ハガキで29年度データ管理料のお支払のお願いをさせていただきます。

3月末日までにお支払いただきますようお願い申し上げます。

*参加内容に変更がある方、28年度でCPD制度への参加を取り止める方は必ず事務局までご連絡下さい。



竹中工務店は「最良の作品を世に遺し、社会に貢献する」という経営理念のもと、手掛ける建築の一つひとつを丹精込めてつくってきました。これからも絶えず人々との対話を重ね、技術の研鑽を続けることで、時代が求める最良のソリューションを提供していきます。そして、サステナブル社会を実現し、地球の未来につないでいきます。

想いをかたちに 未来へつなぐ
TAKENAKA

地域だより
広島 県外見学会で松江へ行きました



松江城

寒さも深まる昨年12月17日(土)、松江道を通り、松江市に向かいました。途中の高野サービスエリアでは、深く雪が積もっており不安がつのりましたが、松江市内に雪は無く、ひと安心しました。

今年度の県外見学会は、菊竹清訓の設計による「島根県立美術館」と、平成27年7月に国宝に指定され全国で現存する12天守のうち正統天守閣と言われる「松江城」。そして平成27年10月からの保存改修工事を終えて一般公開を始めた、島根県指定有形文化財・松江市歴史的風致形成建造物「興雲閣」を訪ねました。

島根県立美術館は、エントランスは広くゆったりしていますが、外観は宍道湖に面し、低く緩やかな屋根の形状でボリューム感をなくし、湖面と一体的なデザインとなっており、周辺の環境と調和しているのが特徴です。

松江城、興雲閣では、千鳥が羽を広げたような入母屋破風から、松江城の別名である「ちどり城」の名をとった「ちどり娘」による説明を受けることができました。

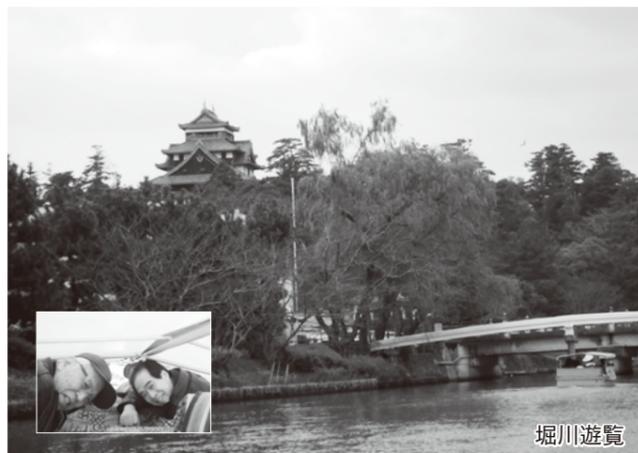
広島支部 見学委員会 吉谷 勝美

城にまつわる歴史的な背景や穴太衆による石垣、柱の周囲を巻いている包板(つつみいた)、桐の階段などについて、分かりやすく説明をしていただきました。さらに建築士会メンバーからの鋭い建築の専門的な質問に対して的確に回答をされており、参加者の皆さんは感心するとともに、熱心に説明を聞いていました。

堀川遊覧では、松江城の堀を巡りながら、いろいろな角度から松江城の眺めを楽しみました。松江城下の武家屋敷が残る塩見縄手地区は、松江市の伝統美観保存地区に指定されています。現在、一部で保存改修工事が行われており、バスの車窓からの見学となり残念でしたが、保存改修工事の

終了後に、再度訪れたいと思いました。

毎年度、日帰りによる県外見学会を開催しています。日帰りが可能な範囲での新しい建築が少なくなっており、歴史的な建物や街並みの見学が増えていますが、これからも魅力的な県外見学会を企画していきます。皆さんの参加をお待ちしております。



堀川遊覧

地域だより
福山 講演会 福山城 石の声を聴く ~2022年 築城400年に向けて~

福山支部 社会活動委員会まちづくり担当 小林 愛



穴太衆積 14代目当主 粟田氏

全国唯一の穴太衆石垣石積工法の正当な継承者である、粟田家14代目当主・粟田純司氏による講演会が昨年12月4日、福山城から程近い、ふくやま文学館の研修室で行われました。建築士会会

員だけではなく、一般の方も対象とした二部構成の講演会には、冷たい雨が降る中、65名の方にご参加いただきました。



第一部 講演

第一部では、福山城の石垣石積に関する講演を行いました。穴太衆積による工法は、現在、我が国で唯一の伝統工法による石積みであり、多くの経験と高度な技術によって、城郭の石垣などに数多くの実績を残しています。粟田先生は「卓越技能賞」「黄綬褒章」と、名だたる賞を受賞されるなど、石垣技術の向上にもご尽力され、穴太衆の歴史・特徴・何より実際に経験を積んで来られた石積の話は、非常に興味深く聞き入る内容でした。

質疑応答の時間には、参加された皆様から途切れることのない質問をいただき、活気ある、そして非常に有意義な講演となりました。

第二部では、福山城天守台石垣周辺に場所を移し、実物を見ながら解説をしていただきました。実際に石垣石積を見ながら話を聞くことでイメージしやすく、講演内容も更に深いものとなり、目の前に積まれた石垣を眺めると昔からの技術の尊さをあらためて痛感しました。

文字では決して表現することのできない、「石の声」。この講演会を通して、福山城の魅力を再度感じることができたのではないかと思います。

福山城は2022年に築城から400年の節目を迎えます。多くの方にこの節目を祝っていただけるよう、建築士会では福山城に関する事業を引き続き計画していく予定です。

最後に、この講演会を開催するに当たり、ご協力いただいた、粟田先生や、地域の皆様、福山城ボランティアガイドの皆様、会員の皆様、ありがとうございました。



第二部 散策 福山城天守台周辺等

「より早く・より公正に・より親切に」をモットーに
より確かなサービスを提供します

■ 指定確認検査機関	■ 登録住宅性能評価機関	■ 指定構造計算適合性判定機関
■ 登録建築物調査機関	■ 適合証明業務(フラット35)	■ 長期優良住宅認定審査業務
■ 住宅瑕疵担保責任保険業務	■ 調査診断業務(耐震診断等)	■ 耐震診断判定業務
■ 住宅省エネラベル適合性評価業務	■ 建築物省エネルギー性能表示制度(BELS)評価業務	■ すまい給付金関連業務

株式会社 ジェイ・イー・サポート
URL <http://www.jesupport.jp/>

本社 〒730-0013 広島市中区八丁堀 15-8-6F
TEL: 082-836-3300 FAX: 082-228-8201
支店: 東京 e-mail: mail@jesupport.jp

指定確認検査機関(中国地方整備局長指定第1号) 登録住宅性能評価機関(中国地方整備局長登録第5号) 登録建築物調査機関(中国地方整備局長登録第1号)
認定低炭素住宅 長期優良住宅 建築確認 住宅瑕疵保険 フラット35 適合証明 住宅性能評価 住宅省エネラベル

ハウスプラス中国は
迅速、的確な審査で、皆様の建物の
安全、安心をサポートします。

中国エリアをすっぴりカバーしています

Energyia HOUSE PLUS ハウスプラス中国住宅保証株式会社
<http://www.jutakuhosho.com/>

広島本店: 広島市中区国泰寺町 1-3-32 国泰寺ビル 1階
TEL: 082-545-5607 FAX: 082-545-5608
広島北支店: 広島市安佐南区西原 6-9-40-7 TEL: 082-832-3310 FAX: 082-875-4330
福山支店: 福山市西深津町 1-10-1 TEL: 084-973-9143 FAX: 084-973-9146

公開まちづくりセミナー2016

おりづるタワーに翔ける想い ~空を翔け 時を超え 心に届け~

事業委員長 藤井 秀幸

昨年12月6日(火)、広島市中区原爆ドーム横、「おりづるタワー」12F「おりづる広場」で講演会を開催。約160名の参加がありました。

講師は、㈱広島マツダ代表取締役会長兼CEOの松田哲也氏。社長室長、管理本部長、副社長、代表取締役社長を歴任された後、2015年12月より現職に。「happyhappy(ハッピーハッピー) spechigher(スペックハイヤー)」を経営理念に掲げ、マツダディーラーだけでなく、国産車の輸出事業やICT事業など、事業の多角化、グローバル化に積極的に取り組んでおられます。昨年9月には、地元企業が地元で還元できる挑戦事業として、「おりづるタワー」をオープンされました。

講演は、参加者が「おりづる広場」の床の段差に腰かけ、松田氏が3方向を向いたモニターを操りながら始まりました。戦後の復興期から広島の企業として広島に育てられたことへの恩返しをとの思いがあり、兼ねてから環境緑化や植林にも取り組んでこられました。当時オフィスビルであったこのビルの内見に訪れた際に、屋上から広がる眺望に一目惚れ。ここを改築して、この風景を広島の人に、観光で訪れる世界中の人に見てもらいたいという思いから「おりづるタワー」の事業が始まり、「半ば使命感を持って取り組み始めました」とのことです。

被爆者の方にさまざまなお話を伺う中で、平和の概念は人それぞれだということを実感。平和の意味は深く、平和のメッセージを伝えるよりも、今この場所から未来へ繋がっていく街の優しさ、人の力強さをそれぞれ感じてもらえる場所になればと思うようになったそうです。



デザインコンセプトを含め、「広島」「おりづる」「折り紙」がビルの幹になり、広島のためになるものという思いで構成。例



えば原爆ドームの周りに休憩できる場所がない、有数の観光地なのに土産を買う場所がない。ご自身が被爆2世であり、神戸マツダモーターズ時代に震災に遭遇した経験も含め、妥協せずに魂を込め、今までの広島になかった施設を造ったと語られました。

この建物は、高さ51.5m・築36年経過の既存のオフィスビルを耐震改修の上、リファインしたもので、自然の風が入り、57%のCO₂削減効果があります。1F物産館・カフェのほか、オフィスや貸し会議室、12~13Fが展望エリア。建築物の構造体の耐震性、建物用途や色遣いなど立地に対する配慮がなされ、建物の安全性はもとより、利用者へのホスピタリティに溢れた建物となっています。屋上階に展望台を設けるに当たっては、被爆者団体、関連団体への説明に奔走し、了解をもらっているそうです。自分たちの世代から考える「HIROSHIMA」と街との関わりに挑戦されているように感じました。

入場料金に対しても賛否の声があるそうです。当初、年配者を無料にするとそのご家族も一緒に来てもらえるかと期待したそうですが、肩透かしに。今後は、年間パスなどを考え中で、施設を利用したイベントに積極的に貢献したいということでした。日本のランドマークである「HIROSHIMA」をメインのオフィスにといた企業さんも入居されるようです。

まちづくりはランドマークや歴史を考慮、配慮しますが、私たちが広島に住んで思う以上に、時代は立ち位置の再考を促していると感じさせていただいた講演でした。今回は13F展望階の解放と自由見学、講演会後の懇親会を同会場で行うなど、新しい取り組みを実現できました。参加者の方々と語り合い、再び訪れたい施設として親近感を覚えるイベントになりました。

MONTHLY 建築士
No.120

IROSHIMA



MONTHLY 建築士 HIROSHIMA No.120 平成29年3月1日発行

発行 公益社団法人 広島県建築士会 〒730-0052 広島市中区千田町3丁目7番47号
TEL (082)244-6830(代) FAX (082)244-3840 URL <http://www.k-hiroshima.or.jp/>
e-mail : info@k-hiroshima.or.jp

発行人 会長 元廣 清志
編集人 広報委員長 神岡 千春